



## D-02 間質性肺疾患

ほうしゃせんはいえん

# 放射線肺炎

### 【概要】

胸部にできたがん（肺がん、食道がん、乳がん、悪性リンパ腫など）に対して行われた放射線治療が原因で起こる肺炎です。細菌感染によるものではありません。

### 【疫学】

一定以上の放射線の線量を超えると程度の差はありますが起こります。放射線治療中から終了後6カ月以内に起こりやすいといわれています。

### 【発病のメカニズム】

細胞内のDNAが損傷を受けたり、免疫学的な反応により細胞から分泌される物質（サイトカイン）により引き起こされるといわれています。

### 【症状】

せきや発熱、息切れなど。無症状の時もあります。

### 【診断】

放射線治療後に、胸部エックス線や胸部CTなどの画像で、放射線を当てた部分（照射野）に一致した領域に肺の構造と無関係な陰影がみられることにより診断します。時に放射線を当てた部位以外に陰影が認められます。

### 【治療】

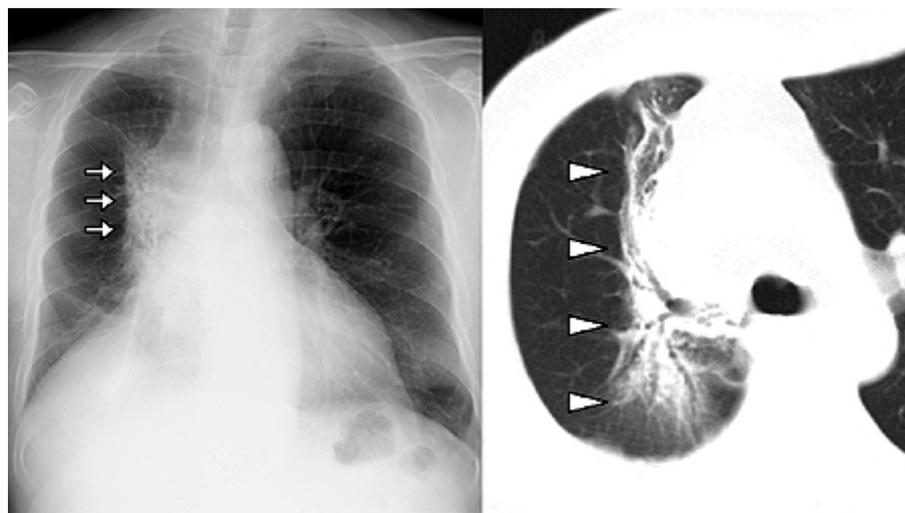
軽症であれば対症的に経過をみるだけでよいのですが、呼吸困難が進行する場合にはステロイド薬（副腎皮質ホルモン）を使用することがあります。

### 【生活上の注意】

呼吸困難がでたときには、すぐに主治医にご相談ください。

### 【予後】

一般的に予後は良好ですが、肺炎が起こった範囲が広いときには重篤な状態となり、死亡される方もいます。



放射線肺炎のレントゲン(左)とCT写真(右)

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください！



## 呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

## 呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会  
ホームページ

[www.jrs.or.jp/](http://www.jrs.or.jp/)